

2018年9月28日

各位

住友金属鉱山株式会社

「住友金属鉱山 統合報告書 2018」の発行について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長 野崎明）は、ステークホルダーの皆様へ、SMMグループがめざす“持続的な成長と企業価値の最大化”へ向けた取り組みについて、より一層ご理解いただけるよう、住友金属鉱山 統合報告書 2018 を発行いたしました。

「住友金属鉱山 統合報告書 2018」の特徴

2016年から3回目の発行となる本報告書「住友金属鉱山 統合報告書 2018」では、GRI※スタンダードでの情報開示への移行と合わせ、当社が特定する重要課題へのマネジメントアプローチの解説を充実させました。

具体的には、特定している重要課題が当社グループにとってなぜ重要であるのか、またその課題をどのようにマネジメントしているのかという情報の開示となります。さらに、このマネジメントアプローチを軸に重要課題と様々な活動や開示情報との相互関連性および結合性の視点から大幅にページ構成を見直しました。

一方、本報告書をツールとしたステークホルダーの皆様との2年間のコミュニケーションにおいて、ご指摘頂いた事項やご要望をそれぞれの企画の中に活かすことで継続的なブラッシュアップを図ってまいりました。本報告書では、新たにESG情報と経営戦略とのコネクティビティの改善、ビジネスプロセスにおけるアウトカム記載の充実、株価パフォーマンスの掲載、取締役会評価の記載充実などを行いました。

なお、本報告書の作成にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)の国際統合報告フレームワークを参考にしています。また、サステナビリティ報告の開示情報については、GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダードの中核(Core)オプションに準拠するとともに、その自己宣言およびパフォーマンスデータ等に対する第三者保証を受けています。

今後とも、当社グループがめざす“持続的な成長と企業価値の最大化”をよりご理解いただけるよう、公平、適切な情報開示に努めてまいります。

※GRI : Global Reporting Initiative の略。

サステナビリティ報告書の国際的なガイドラインの作成・普及を目的とした団体。

以上